

地域活動充実支援事業

(手柄地区)

No. 11 2021.3

手柄地区において、行政と地域がともに考え行動していく地域活動充実支援事業についてお知らせします。

第12回手柄地区地域活動充実支援事業 ミーティング

会議概要

| 日時 | 場所 |
|--------------------------|-----------------|
| 令和3年3月28日(日) 13:30~14:45 | 姫路市立手柄公民館 2階会議室 |

出席者(順不同) 自治会長、地域活動団体関係者等約20名と姫路市より3名

議題

- ・令和3年度 地域活動計画(案)について

議事内容/結果

1 開会

会長挨拶

- ・今回の資料には、あいさつの概要も記載しているが、何回か出席していただいた方に「会長は一生懸命挨拶しているが、何の話をしているのか。」と聞かれたので、資料として記載しておこうと思う。
- ・地域活動充実支援事業は、手柄地区でも地域住民が自主的に企画立案し、主体的に活動できる場を提供しようと、まちづくりに必要と思われる会議を継続実行しており、令和元年度末に実施したアンケートも参考に進行している。
- ・今回は、昨年7月に発表してもらった各グループの方に、令和3年度の活動計画案を発表していただくので、参加していただいた皆さんには、地域に持ち帰ってお話していただければと思う。

2 各グループからの発表

- ・手柄山を楽しむ会(環境グループ)

現在、手柄山周辺では再整備が始まっている。令和3年度は、山から里を目指して、手柄山周辺の9町の歴史・文化に触れる活動をしたい。

手柄の歴史と文化を学ぶ講演会を実施したり、手柄の思い出を残すため、昔の写真の掘り起こしに努め、定点の写真を展示したり、写真教室も開きたいと考えている。

- ・「手柄の歴史・文化を守る会」の活動目標について(歴史文化グループ)

午前中、飾磨で行われた祭り屋台の完成披露を見てきた。祭りはやはり良いと感じた。今年は実施できればと思う。

前回2月のミーティングで「手柄村の歩み」の発刊、説明を行ったが、それ以外にも出版物、建碑等の計画について説明。会員も募集している。

- ・手柄校区地域活動充実支援事業について(尚歯会、総踊り大会について)(地域交流グループ)

アンケートにも記載したが、手柄での尚歯会は111回を数え、伝統的な教育的行事である尚歯会を「姫路市無形文化遺産」に登録することを念頭に推進していきたい。

総踊り大会についても、手柄校区において8月第1土曜に小学校校庭で開催されているが、地域の連帯意識が高まる行事であり、改善しながら進めていきたい。

- ・「手柄地区安心安全協議会の発足について」（地域安全安心グループ）

手柄地区と取り巻く環境が大きく変わろうとしている中、地域環境の変化をリアルタイムに把握し、行政と直接対話をするにより、地域住民みんなで情報を共有し、安心して安全な生活に繋げることが重要だと考えている。

例えば、事業の進捗にあわせて通学路のルート変更や、安全対策はどうなっているのかを確認し、公の協議会を開催することで、地域コミュニティの活性化及び安心安全なまちづくりの円滑な進捗に取り組んでいく機会になればと考えている。

組織は、連合自治会を中心に小学校、スポーツクラブ 21、PTA、子ども会、消防分団、警察、姫路市、社会福祉協議会、防犯協会、民生児童委員、生涯クラブなど手柄地域コミュニティに関係する団体で組織し、公民館を拠点とし、6月頃に年度当初の協議会を開催してはどうか、と考えている。

- ・社会福祉協議会手柄支部の活動について（地域福祉グループ）

社会福祉協議会の支部長の取組について報告。

ふれあい食事サービス事業を地区内3箇所で開催している。

ふれあいネットワーク事業はボランティアが見守り訪問しているが、民生委員児童委員とも協力し、実績が増加している。

前会長時代に開始した子育て支援事業「まんまとっと」は、毎月第3土曜日に実施。

ふれあいサロン事業は今年度から、地区内3箇所で開催中。

これから事業を始めたい、関心があるという方は、実施方法等アドバイスできると思うので、ご相談いただきたい。

3 地域活動充実支援事業について（姫路市市民活動推進課）

- ・地域活動充実支援事業中間報告書の内容について説明

配布した資料は、手柄地区も含めて3地区で意見交換会を行った時の資料で 各地区の事業の実施状況も出している。報告書にも記載しているが、手柄地区で、地域活動をしたいという方が出てくることは成果だと思う。連合自治会長ご自身の思い、地域の顔が見える関係を作り、その結果、福祉や防災など手柄地区に生活できて良かった、安心できるといった生きがいのある地域になっていけばと思う。そのためにも、今日発表された各グループのやりたい活動が見えてくる中、手柄地区としてこれらの活動を持続して実施していくためには、令和3年度も引き続き、事業を継続して実施する中で、持続可能な活動とするための地区単位での地域活動について検討していただきたい。令和3年度は公民館の大規模改修の予定もある中、このミーティング自体を継続することは大事だが、連合自治会を中心とした各種団体と連携して、どうしたら良いのか考えていく必要があると思う。

また、今日の発表について、地域の歴史・文化を写真に残して、との話もあったが、若い方にも参加してもらうために、インスタグラムなど SNS の活用なども今後、検討していただければと思う。

4 その他

- ・社会福祉協議会、地域包括支援センターから報告

- ・参加者から：私自身は手柄出身ではないが、手柄地区に住んで、興味を持って教えてもらい良かった。

次回 令和3年4月25日(日) 13時30分から 手柄公民館

内容 「手柄地区の地域活動充実支援事業」について

講師 姫路市市民活動推進課

当日の様子

